

新型 3T-MRI 稼働開始のご案内

2023年8月10日より、シーメンス社製の3T-MRI装置「MAGNETOM Vida」が稼働します。新しい技術コンセプトである「BioMatrix Technology(バイオマトリックステクノロジー)」を搭載したこれまでにないMRI装置です。

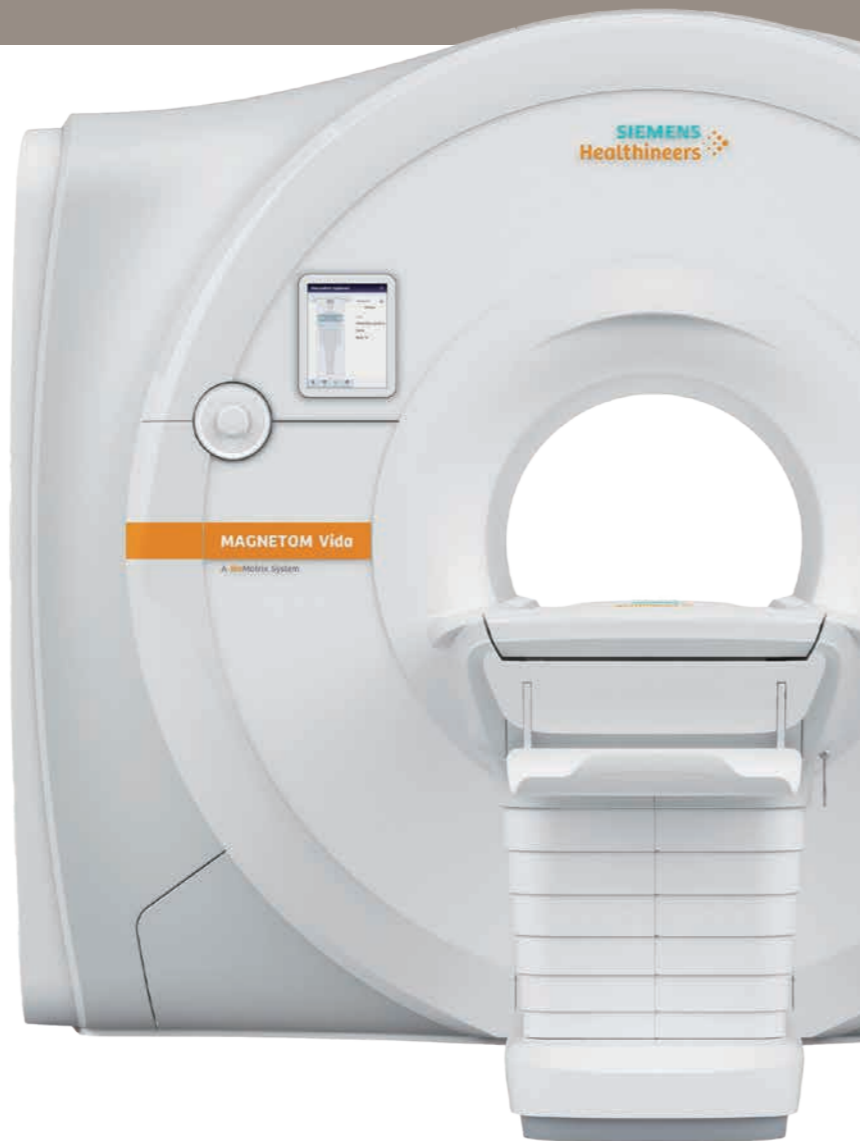
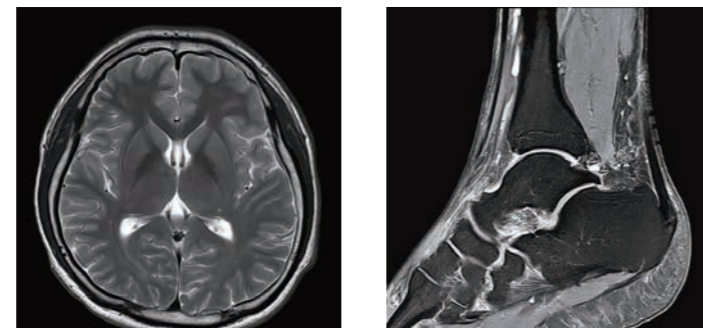
3T-MRI装置の大きな特徴 従来の装置との違い

- ❑ 従来の1.5T-MRIよりも強力な磁場を用いてより高分解能・高画質な画像
- ❑ 高速撮像が可能なので、よりスピーディーに救急検査対応が可能
- ❑ 従来の装置には無かった新たな新機能で検査時の患者さん負担を軽減

■ 新機能

BioMatrix Technologyとは高齢者の検査における呼吸コントロールの難しさや静止困難な被検者に対するモーションアーチファクト抑制、体型により影響が出やすい脂肪抑制の制御といった課題をクリアする為に設計されたテクノロジーです。

MRI検査で問題視されていた被検者の特性による画像のばらつきを可能な限り少なくして再現性の高いハイクオリティな画像の提供を可能にします。



康生会 武田病院 2023年 秋号 地域医療連携だより



受付時間

月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00
※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みいたします。



武田病院

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)
FAX (075) 361-1337 (専用)



患者サポート
センター

※患者サポートセンターの受付時間外につきましては、医事部(医療事務)にて対応いたします。

TEL (075) 361-1351 (代表) FAX (075) 361-1268 (医事部専用)

理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R
(減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

より低侵襲で質の高い治療へ レーザー機器を更新しました

泌尿器科では、より低侵襲で質の高い治療を受けていただくために、エダップテクノメド株式会社製のパルスホルミウムヤグレーザー「Cyber Ho 60W」に更新いたしました。

1. 経尿道的ホルミウムレーザー

■ 前立腺核出術 (HoLEP) の特徴

- 出血や痛みが少なく、負担の小さいレーザー治療
- 合併症のリスクが少ない
- サイズの大きい前立腺肥大症にも対応可能

■ HoLEP と TUR-P の違い

HoLEP

経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術 (HoLEP) は、レーザー光を使用して腺腫を丸ごとくりぬく手術法のため、出血や痛みが少なく、患者さんの負担が小さい治療法です。

TUR-P

経尿道的前立腺切除術 (TUR-P) は、内視鏡と電気メスを使用する手術法で、腺腫を少しずつ何度も削るため出血が多くなります。



新しく手術用顕微鏡を導入しました

脳神経外科ではこの度、カールツァイス社製の手術用顕微鏡 KINEVO 900 を導入いたしました。従来の PENTERO と比較して、さらに光学系が洗練され、顕微鏡術者の視認性が大幅に改善されました。

QEVO と呼ばれる術中内視鏡が付属しており、最近の流れであるヘッドアップサージェリーにも対応します。顕微鏡と組み合わせれば、術者は顕微鏡を覗いたまま内視鏡映像を確認することもできます。

また、4 K 映像・3 D 映像出力にも対応しており、術者以外が 3 D で術野の状況を観察可能となったため、術中におけるパラメディカルとの情報共有や若手術者教育にも貢献しています。



2. 経尿道的結石レーザー碎石術

従来のレーザー機器に比べ高出力での碎石ができ、より効率的な治療が可能となりました。さらに尿管狭窄の切開や軟部組織の蒸散なども対応が可能で、より低侵襲な治療を提供できるようになりました。

